

## 能楽「山姥」の思想的背景

つくば国際短期大学 吉葉 美子

謡曲「山姥」は、世阿弥の数多くの謡曲の中で最も色濃く禅仏教思想が反映されている作品である。

世阿弥は三十代から補巖寺（大和における唯一の禅寺）で、道元の法孫である、二代目竹窓智巖（註1）の下に禅を学んだ。

世阿弥の傑出した劇作家、演出家としての才能は、彼が禅を身につけたことによる。世阿弥の学んだ禅仏教思想は「無」（「せぬ所」）の哲理で貫かれ、演技の中に明確に生きている。彼は禅を芸術として展開させている。「無」の哲理は、「無心の能」「無文の能」の世界へと展開されて新たな発想で幽玄の世界を生みだしていくことができた。それは、いわばあらゆるものを捨て尽くし否定尽くしたその極みに訪れる、一種の安らぎに似た実在感と言うものである。芸術家世阿弥が構築した芸術的仮構の世界である能は、時間も空間も時代も身分も超越して、人間の情念そのものを浮き彫りにしている。さらに具体的に言及するならば、それは複式能（註2）と夢幻能（註3）という形式を生み出したことである。その本質は、すでに完結した人間の一生を、異次元の他界から眺めているために、生きて渦中にあった時よりもその人生の全体像がはるかによく見え、それ故に人間観照者として、一段と上段にあるといえるものが世阿弥の死者の霊には存在する。

現在、盛んな海外での演能や、全国各地での演能、新能の隆盛を見るに及んで、時空を超越した人間そのものの姿を描き得たことが、不変の力を600年後の今に表し、今まさに、世阿弥の偉大さを計り得るようになったと言えるであろう。

さて、この「山姥」は、山神信仰、民間伝承の山姥の山廻り、人を懐かしみ人を助ける善の側の山姥などの素材に、大自然の象徴と哲理、母なるもの、人生の輪廻転生、宇宙自然そのものの大きさを描かれた禅仏教思想の最も色濃く現れた能である。豊かな想像と想像力で作られた「山姥」は氣宇壮大な一曲である。

山に住む女は、大方、巫女の血を引いていて、山以外の生活を望まぬ人々で、恐ろしげな山中深くに、夜半でも自在に立ち居振る舞える生活をしている。そのことへのおそれや、人に交わり、里の生活に交わる必要をまったく認めていないところに山姥を鬼とみることになるのだろう。

山姥の世界には、はじめから、空と空気、森と林、霧と霞、巖や植物の発する清冽な香りだけの世界だけしかない。山姥の境涯は、世阿弥一人の

憧憬的世界ではなく、多くの苦悩を超越しようとする人々にとっての、極めて厳しい救いの世界であったのであろう。業を積みつつ廻り廻って、妄執から離れようとするのだが、その離脱への道は、永遠の煉獄であり、白骨となって山に果つるまでその業は続く。栄華も利欲もなく、からだを自然の一部となし、生きながら鬼と呼ばれ、最後の最後まで妄執にとらわれながら山を廻っているその姿は、もはや女体を通り越し修験者に見られる如く、頑強な肉体と屈することのない魂を持つ男の極限の意志の塊である。謡曲「山姥」後シテ登場後の地謡「よし足引きの山姥が、山廻りするぞ苦しき」の中に、この考察が可能となる。この苦しみに負けずに、勇気をもって立ち向かい、生き続けている生きざまを山姥に描く世界は、意志の強い人間即ち世阿弥の思想の反映そのものである。ここに道元と同様であることが認められるのである。

「山姥」は山や木や動植物の精霊物である。生前の怨念のために出現する霊とは異なるもので、それは自然と一体化する考えから生じてきたものである。これと同じ発想から生まれた作品には次のようなものがある。「老松」の老松の精、「藤」の藤の精、「胡蝶」の胡蝶の精や「梅」の梅の精「六浦」の楓の精、「芭蕉」の芭蕉の精などの精霊物があげられる。

精霊である山姥は、雪月花の四季を愛でつつも輪廻転生から脱することが出来ぬ妄執の姿、善悪不二、邪正一如の禅仏教思想の広大な世界であり深山幽谷の木霊や霧霞のように、何処へともなくかき消えていくのである。

註1 道元1200～54…懐災1198～1280…義介1219～83…真覚？～？（補巖寺1代目）…智巖？～1423（補巖寺2代目）…世阿弥1363～1444

註2 世阿弥伝書「申楽談儀」第15条「二切にて入り替る能は書き易き也。」

註3 大正15年ラジオ放送で佐成謙太郎が一曲の主人公がワキの夢に現れ出るものを名づけた。

### 主な参考文献

- 道元と世阿弥 西尾実著 岩波書店 1965  
世阿弥芸術論集 田中裕 校注者 新潮社 1974  
夢幻能 田代慶一郎著 朝日新聞社 1994  
能のドラマツルギー 友枝喜久夫 舞百番日記 渡辺保著 角川書店 1995  
日本古典文学大系40・41 謡曲集上下 横道万里雄 表章校注 岩波書店 1960  
謡曲集1・2 小山弘志・佐藤喜久雄・佐藤健一郎 校注訳 小学館 1973（上）1975（下）